

## 1 はじめに

本校は、岩国市のほぼ中央部に位置し、学級数12・生徒数300の中規模校である。生徒は純朴ではあるが、近年、保護者の状況や生活スタイルの多様化、情報過多及び情報モラルに係る問題、都市化等が絡んだ複雑な社会的背景により、生徒指導上の諸問題が少なからずある。また、全体的な傾向として、与えられた課題にはまじめに取り組むが、積極性や意欲面で課題があり、自分から動いたり、自分の考えを表現したりすることがやや苦手である。

地域は自然に恵まれ、温暖な気候で、それらを活かした地域行事がある。また、新旧の住宅地が点在した市内のベッドタウン的存在である。地域は、1小1中1公民館であり、まとまりがあるが、ともに核家族化・出生率の低下により子どもの数は減少し、合わせて住民の高齢化が進み、地域の活性化・世代交代という点において大きな課題がある。

そのような状況を受けて、本校は平成24年度から岩国市の「地域協育ネット」を推進しており、地域との連携強化に努め、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てることにより、地域及び学校の活性化を図っている。

平成26年には岩国市からコミュニティ・スクールに指定され、地域住民との交流活動を通して、「地域ぐるみで子どもを育てる」を合い言葉として、地域との間に「Win-Winの関係」をつくりながら地域の活性化に貢献する学校づくりを推進している。

本活動は今年度で9年目となり、これまでに様々な相互交流がなされ、開かれた学校・信頼される学校・地域から愛される学校へと深化していることを実感できるような取組を小学校とともに推進することを目的とした。また、今後この活動を通して、小中連携がさらに推進されることを願っている。

そして、2020年度からスタートした小中一貫教育の充実に向けて、小中連携・地域連携を加速化させていきたい。

以下、活動の概要は、本事業から支援をいただいたものを中心に掲載した。

## 2 活動の概要

平田中学校区は、「ふらっとネット」という地域協育ネットの組織が、学校と地域との双方向の貢献活動を実践しており、例年は小学校と合わせて、60以上のプロジェクトを実施していた。本年度は、新型コロナウイルスの影響により、例年実施している(1)～(4)アまでは中止となった。しかし、(4)イ～エは実施し、(4)オについては本年度立ち上げて実施した。

### (1) 地域のお年寄りとの交流（老人施設慰問コンサート）

例年は、9月の敬老の日に平田地区の敬老のつどいに参加し、吹奏楽部が歌や演奏を披露している。また数年前より、中学生が演じる地域芸能「平田囃田」が出演するとともに準備・運営・片付けのボランティアとして生徒が参加していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

### (2) 幼児との交流（保育実習&幼稚園支援ボランティア）

例年は、11月に校区内の幼稚園において、3年生が保育実習として幼児との触れあい活動を行っている。事前に、一緒に遊ぶものや名札を製作し、楽しいひととき



となるよう工夫している。これも新型コロナウイルスの影響により中止となった。

### (3) 地域盆踊り大会支援

例年は、地域の夏の盆踊り大会において、準備や運営のお手伝いをしている。これも新型コロナウイルスの影響により中止となった。

### (4) その他の地域活性化

#### ア 平田地区の伝統芸能である「平田囃田」

例年は、夏休みから地域の伝統芸能である「平田囃田」を受け継ぎ、さらに発展させるため、生徒から有志を募り、地域の保存会のご指導によりこの芸能を練習している。毎年、文化祭や地域の秋祭り、介護施設秋祭りなどで披露しており、地域の活性化に大きく貢献している。これも新型コロナウイルスの影響により中止となった。

#### イ 通学路清掃活動

学期に1回、全校生徒及び小学5・6年生が、通学路清掃を行った。登校時にゴミを拾い、学校にもってくるという企画である。地域をきれいにするという点で、地域への貢献度は大きい。

このような活動により、平素から落ちていたゴミを自然に拾うことができるようになると思われる。

#### ウ 花壇整備活動

年3回(春・夏・冬)、校内の花壇整備を地域住民の皆様とともに行っている。生徒は、土の掘り方や苗の植え方などの指導を受け、老人クラブの皆様とコミュニケーションを図りながら行っている。

老人クラブの皆様も、生徒と一緒に汗を流し、会話をすることで元気になられているように感じる。

また、本年度は、本活動費から花壇整備活動と地域清掃活動に使用する道具や苗などを購入し、交流や活動において活用している。

#### エ 地域一斉あいさつ運動

昨年度より平田中学校の生徒会が企画して、小学校と地域を巻き込み、さわやかなあいさつが飛びかう町・平田にするために行った。徳の部会のプロジェクトに位置づけて、年間5回、小学生と中学生、地域の方々が参加して、平田中学校校区において実施した。

小学校と地域への呼びかけについては、すべて中学校の生徒会執行部が足を運び直接お願いしたので、地域の方々も「中学生がそこまで考えているのであれば、我々大人が協力しないわけにはいかない。」と大変喜ばれ、協力くださっている。





## オ 平田花いっぱい運動

本年度より、平田中学校生徒会が中心となって、平田地区自治会連合会に呼びかけて、この平田地区を花いっぱいにすることをめざして進めた。本年度は、平田中学校が育てた花を平田地区自治会連合会に制作していただいたロゴ入りのプランターに植えて、平田供用会館や平田支所に飾っている。地域の方々にも大変喜んでいただいている



## 3 成果と課題

### (1) 成果

現在、平田中学校は、平田小学校とともに小中一貫教育を推進しており、9カ年のカリキュラム編成を行っている。その中で、「地域連携・地域学習」カリキュラムを数年前に完成させ、本年度はその充実を図っている。その推進役となっているのが、この地域貢献・地域連携活動「ふらっとネット」であり、本年度はのべ約60のプロジェクトを予定していたが、新型コロナウイルスの影響によりほとんどが実践できなかった。

しかし、昨年度に立ち上げた地域一斉あいさつ運動を、平田中学校の生徒が企画運営をして、さらに充実した運動に発展させた。また本年度は平田中学校生徒会が中心となって平田花いっぱい運動を立ち上げた。地域の皆様も中学生からそれらと呼ばかけられたことを大変喜んでくださり、横断幕やのぼり旗、ロゴ入りのプランターを作成していただくなど多くの支援をいただき、一緒に活動している。

このことにより地域との間に、「Win-Win」の関係が築かれ、地域全体が活性化してきている。

### (2) 課題

来年度もコロナ渦での活動になることが予想される。例年どおりの活動が一つでもできるように工夫していきたい。また平田中学校生徒会が中心となってはじめた地域一斉あいさつ運動と平田花いっぱい運動を継続させ、小学校と地域を一層巻き込み、この地域の伝統にしていきたい。

これまでの活動により、生徒と地域住民の交流が盛んになったものの、その活動は全校生徒にまで及んでいない。今後は、できるだけ多くの生徒が複数回参加できるよう、さらに呼びかけ、活動内容も工夫していきたい。

また、今後は、地域の課題（高齢化、独居老人の増加、地域行事の企画・運営の困難さ等）の解決に資する活動を中学校として仕組んでいきたい。

活動を仕組む上で、小学校や地域団体と日程の調整が大変難しいと感じている。また、様々な活動を行う際、運営に係る経費面が課題となっている。文具を始めとする消耗品や花壇を整備するための経費は、学校で賄えるほど余裕がない。よって、このような事業は大変有り難い。